

製品名: CD126 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82789**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	52kDa

抗原情報

遺伝子名	CD126
別名	IL6Q; gp80; CD126; HIES5; IL-6R; IL6RA; IL6RQ; IL-1Ra; IL-6RA; IL6QTL; IL-6R-1
遺伝子 ID	3570.0
SwissProt ID	P08887
免疫原	大腸菌で発現したヒト CD126 (AA: EXTRA 20-177) の精製された組み換え断片。

背景

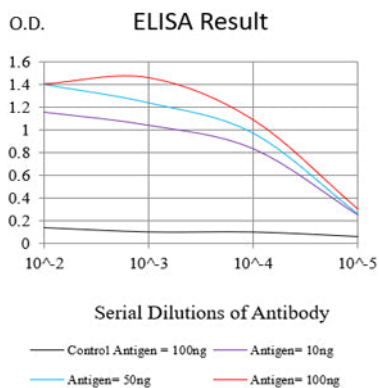
この遺伝子は、インターロイキン 6 (IL6) 受容体複合体のサブユニットをコードしています。インターロイキン 6 は、細胞の増殖と分化を制御し、免疫応答において重要な役割を果たす強力な多面的サイトカインです。IL6 受容体は、このタンパク質と、他の多くの

サイトカインにも共通する受容体サブユニットであるインターロイキン 6 シグナル伝達因子 (IL6ST/GP130/IL6-beta) からなるタンパク質複合体です。IL6 とこの受容体の産生異常は、多発性骨髄腫、自己免疫疾患、前立腺がんなど、多くの疾患の病因に関与しています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが同定されています。この遺伝子の偽遺伝子は 9 番染色体上にあります。[RefSeq 提供、2020 年 8 月]

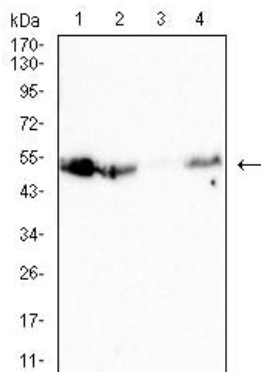
研究分野

TGF- β シグナル伝達経路、PI3K-Akt シグナル伝達経路、Jak-STAT シグナル伝達経路

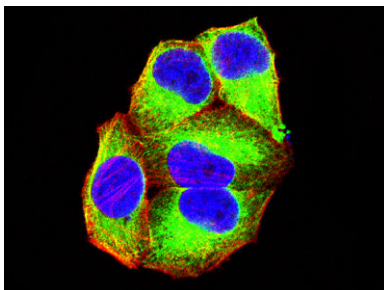
画像データ



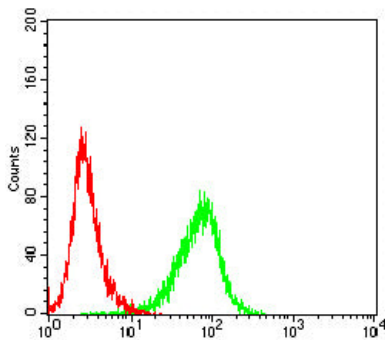
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



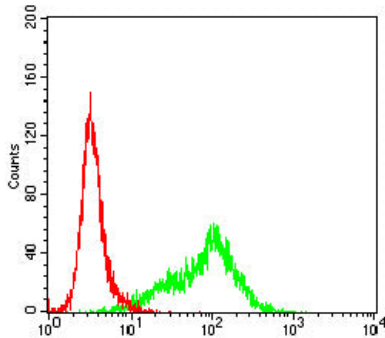
Jurkat (1)、MOLT4 (2)、Raw264.7 (3)および THP-1 (4)細胞溶解物に対する CD126 マウス mAb を用いたウエスタンブロット分析。



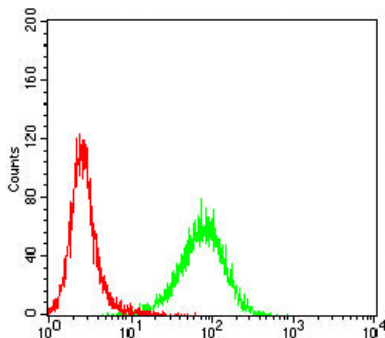
CD126 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



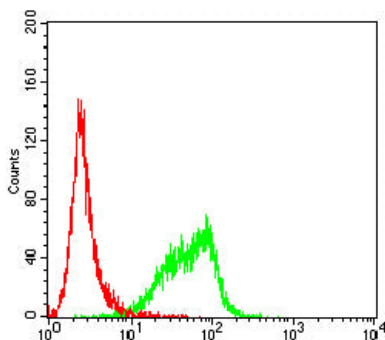
CD126 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Jurkat 細胞のフローサイトメトリー分析。



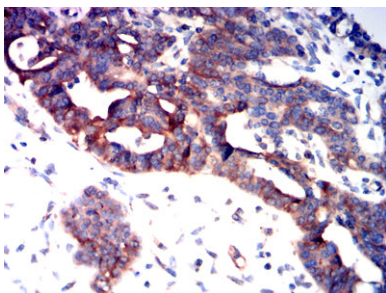
CD126 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した K562 細胞のフローサイトメトリー分析。



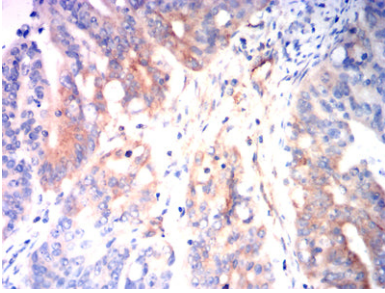
CD126 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した THP-1 細胞のフローサイトメトリー分析。



CD126 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した U937 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による CD126 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト卵巣癌組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による CD126 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。